

日向路の博物館

発行：宮崎県博物館等協議会事務局 <http://miyahakukyo.starfree.jp>

<各館トピック>

●○若山牧水記念文学館○●

若山牧水記念文学館は、日向市東郷町坪谷にあり、国民的歌人「若山牧水」の遺品・遺墨や、詩人「高森文夫」の遺品などを収蔵しており、これらの文化的財産である資料を展示・公開しています。（次ページへつづく）



写真2 第75回牧水祭 第2部：牧水を偲ぶ会
坪谷小児童による短歌朗詠

若山牧水記念文学館
YAKAYAMA BOKUSUI MEMORIAL MUSEUM

若山牧水生誕140年 若山牧水記念文学館開館20年

お水43年の生涯
没後100年の軌跡を辿る

第1期「日向若山家の歴史」	2025年 7月5日(土)～9月23日(日)
第2期「驚誕生」	10月4日(土)～12月23日(日)
第3期「牧水誕生」	2026年 3月6日(金)～5月31日(日)

写真1 生誕140年特別企画展「牧水43年の生涯」～没後100年の軌跡を辿る

—宮博協だより第30号の発刊によせて—

宮崎県博物館等協議会 会長 井上 大輔

各会員館・園におかれましては、令和7年度の協議会運営に当たり、格別の御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、研修会等をはじめとする事業を計画どおり実施することができました。

さて、本協議会は平成元年に「宮崎県博物館等連絡協議会」として設立され、平成13年度に現在の「宮崎県博物館等協議会」へ名称変更し、今年度で37年目を迎えました。この「宮博協だより」も節目となる第30号を発刊する運びとなりました。

この間、私たち館・園を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化しましたが、当協議会としましては、今後とも会員の皆様と連携し、会が目的とする各館・園の機能充実や利用促進、本県の文化の発展等に向け取り組んでまいりたいと考えております。引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

<各館トピック> ●○若山牧水記念文学館○●

令和7年度は若山牧水生誕140年、若山牧水記念文学館開館20年の節目の年となることから、以下の記念事業を開催しました。

○若山牧水生誕140年記念／若山牧水記念文学館開館20年記念事業【写真3、4】

郷土の歌手“小田加奈子”が、郷土の歌人“若山牧水”を歌う「小田加奈子コンサート」の開催（5月25日 会場：若山牧水記念文学館ラウンジ）。



写真3 この日のために新調したドレスで熱唱する小田加奈子さん



写真4 文学館がコンサート会場に（^_^）多くのお客様が聞き入りました



写真5 第1期【若山家の歴史】牧水生家（若山医院）



写真6 第2期【繁誕生】節句幟（高さ5m）



写真7 第3期【牧水誕生】延岡中学校1年（明治32年）中央の人物が牧水

○生誕140年特別企画展「牧水43年の生涯」～没後10年の軌跡を辿る【写真1】

- ・第1期「日向若山家の歴史」所沢出身の健海が坪谷に若山医院開業（7月6日～9月28日）。【写真5】
- ・第2期「繁誕生」坪谷で生を受け、幼少期を過ごした坪谷時代にスポットを当てる（10月4日～12月28日）。【写真6】
- ・第3期「牧水誕生」短歌と出会った延岡時代（3月6日～5月31日）。【写真7】

○若山牧水生誕140年記念第75回牧水祭特別企画

- ①牧水ゆかりの地めぐり
（前日祭9月16日）【写真8】
- ②記念シンポジウム「若山牧水ルネサンスここに始まる」
 - ・講演「牧水は今でも新しい」講師：伊藤一彦【写真9】
 - ・シンポジウム「歌人が語る牧水の新たな魅力」伊藤一彦、乃上あつこ、久永草太【写真10】
- ③交流会「あくがれの会」【写真11】

④第75回牧水祭（9月17日牧水命日）
 第1部：歌碑祭 牧水歌碑に献酒
 第2部：牧水を偲ぶ会 朗読劇「ひともしごろ（牧水幼少期）」上演 坪谷小児童・教諭等【写真2、12】



写真8 牧水ゆかりの地めぐり
 日向市細島～牧水生家まで牧水歌碑等ゆかりの地を巡りました



写真11 交流会「あくがれの会」
 全国から多くのファンが集う



写真12 偲ぶ会：朗読劇



写真9 記念講演：伊藤一彦先生講演

○短歌実作基礎講座 開講【写真13】
 初心者を対象に今年度から開催（年5回）。



写真13 第1回講座の様子



写真10 シンポジウム
 伊藤氏、乃上あつこ氏、久永草太氏

また、令和10年度は牧水没後100年を迎えます。このことから令和7年度～令和10年度を牧水メモリアルイヤーズとして、引き続き牧水特別展を開催してまいります。皆さまのご来訪をお待ちいたしております。

令和7年度 宮崎県博物館等協議会 実施事業

- 1 令和7年度 総会、第1回研修会
 - 【期 日】 令和7年6月6日（金）
 - 【会 場】 宮崎県総合博物館
 - 【総 会】 ○ 議 事
 - ・ 令和6年度事業報告について
 - ・ 令和6年度決算及びミュージアムマップ更新積立金残高報告、
災害時相互協力基金残高報告について
 - ・ 令和7年度事業計画（案）について
 - ・ 令和7年度収支予算（案）について
 - ・ その他
 - 【研修会】 研修会1 講演会
「地域の人々とおこなう博物館の活動 -伊丹市昆虫館の事例から」
講師：伊丹市昆虫館 館長 坂本 昇 氏
 - 研修会2 説明・視察
紹介：みやはくデジタルミュージアムについて
視察：第45回SSP展 他 常設展示
- 2 令和7年度 第2回研修会
 - 【期 日】 令和7年10月30日（木）
 - 【会 場】 宮崎県立西都原考古博物館
 - 【視 察】 宮崎県立西都原考古博物館 展示室
国際交流展 千年の至芸～台湾宜蘭 Blihun 漢本遺跡～
 - 【研修会】 講演会
「文化財の災害対策 -危機管理と現場対応を考える-」
講師：国立歴史民俗博物館研究部 准教授 天野 真志氏
情報交換会・協議

令和7年度 総会・第1回研修会について【報告】

① 総会（10：50～11：45）会場：研修室1
36館中、23館の出席、7件の委任状の提出があり、総会は成立し議事を行うことができた。総会では、井上会長が議事進行を行い、事務局が提案した議案はすべて会員館の承認を受けた。議事については、講師の謝金に関する質問があった。現状を事務局より説明した後、会長より講師の準備時間なども考慮しながら柔軟に対応すること、また、今後新たな事業等で支出がある場合は補正予算等による対応も検討する旨の説明があった。

情報交換の場では、宮崎大学農学部附属農業博物館より「教育支援データベースの概要と現状について」の紹介や「学芸員実習協力のお願ひ」があった。高鍋町美術館からは「キャッシュレス決済の現状について」の情報提供を求める声があり、都城島津邸や



総会の様子

宮崎科学技術館の実例の紹介があった。

② 第1回研修会（13：00～15：30）

（研修会1）講演

第1回研修会は、2部構成で行った。研修会1では、「地域の人々とおこなう博物館の活動 -伊丹市昆虫館の事例から-」というテーマで、伊丹市昆虫館館長の坂本昇氏から講演いただいた。同館で行っている地域活動についての紹介があり、中でも、地域と長年連携して実施しているイベント「鳴く虫と郷町（ごうちょう）」の具体的な内容が紹介された。博物館の資源を活用することで地域の活力向上につなげていくなど、非常に参考になる講演であった。

（研修会2）説明・視察

研修会2では、宮崎県総合博物館の小玉昌孝学芸員から「みやはくデジタルミュージアム構築事業」について説明があった。

最後に、同館で開催中の特別展「第45回 SSP展」について宮地輝和学芸員の解説により視察を行い、その後流れ解散となった。



研修会1(講演)の様子



研修会2(説明)の様子



研修会2(視察)の様子

令和7年度 第2回研修会について【報告】

① 開会行事・会場館の視察

(10：00～11：30)

はじめに、開会行事として、協議会会長と会場館（西都原考古博物館）長友由美子館長より挨拶いただいた。会長からは災害時相互協力に関する協議の再開への協力要請があり、長友館長からは西都原考古博物館の概要等を紹介いただいた。

次の会場館の視察では、同館の東憲章副館長より、常新展示やフィールドミュージアムといった展示のコンセプトや、ユニバーサルデザインに基づいた触察プログラム、音声ガイドベスト等の取組について説明いただいた。

また、現在開催中の国際交流展「千年の至芸～台湾宜蘭 Blihun 漢本遺跡～」について、松本茂学芸員より説明いただいた。



会場館視察の様子



国際交流展視察の様子

② 講演会・情報交換・協議（13：00～15：30）

講演会は、国立歴史民俗博物館研究部准教授 天野真志氏を講師にお迎えし、「文化財の災害対策 - 危機管理と現場対応を考える-」と題して講演いただいた。自然災害発生時にどのように文化財を守っていくのかについて、何を・どのように・誰が・なぜ残すのかを共通認識する重要性や、あくまで“応急処置”としてのレスキューという考え方、ワークショップによる経験値の蓄積など、講師の豊富な現場経験を踏まえた非常に参考になる内容だった。参加者からも、協議会でワークショップを開催してほしいとの要望が挙がった。

情報交換・協議では、椎葉民俗芸能博物館より事前に提案いただいた、燻蒸や自然物の保存、収蔵庫のスペースに関する情報交換を行った。また、高鍋町美術館より、老朽化に伴う館の修繕への公的補助金についての発言もあった。事務局からは、災害時相互協力に関するこれまでの経緯や協議の過程について説明し、今後についての提案を行った。



講演会の様子



情報交換・協議の様子

【事務局からのお知らせ】

- 災害時相互協力基金について
寄付の相談や問合せ等ありましたら、事務局までお知らせください。
- ミュージアムマップについて
各館園で配付分がなくなった際には事務局まで御連絡ください。
また、各館園近隣施設でミュージアムマップを配付可能な場所等の情報がありましたら、こちらもぜひ事務局まで御連絡ください。
- 会員館のイベント広報について
協議会のホームページ及びSNSで会員館のイベント情報を広報しています。
ぜひ、情報をお寄せください。
また、記事の「シェア」等によって情報が拡散しますよう御協力ください。
- 施設情報の更新について
会員館の施設情報について、4月初旬に確認のメールまたはFAXをいたします。御協力ください。
※ 協議会の研修や活動について、御意見等ございましたら、事務局まで御連絡ください。

【発行】 令和8年3月31日

〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4(宮崎県総合博物館内)
宮崎県博物館等協議会 事務局
Tel.(0985)24-2071 Fax.(0985)24-2199